

森の会ニュース

創刊号

2001年12月22日発行

編集・発行

森の仲間たち

はじめに

地域科学部から第1期生が巣立ち、森の会が発足して9ヶ月が経ちました。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

お勤めになっている方、何らかの形で勉強を続けていらっしゃる方、皆さまおひとりおひとりがそれぞれの場でたくさんの経験を積み重ねられたことでしょう。そんなご様子をお見することができる近況報告とともに会報創刊号をお届けいたします。私たち役員一同の手際の悪さをお詫びしつつ、はじめの一步としての会報紙を発行できますことに心から感謝申し上げます。

来年2月には第1回の同窓会の開催を予定しております。ぜひともご参加いただいて、なつかしいお仲間との再会を喜び合いましょう。

寒さが厳しい折、皆さまどうぞ御身体に気をつけてお元気にお過ごしください。では、2月10日にたくさんの素敵な笑顔にお会いできるのを楽しみにしております。

森の会会長 浅井 彰子

皆さんお元気ですかー通信創刊号に寄せて

地域科学部長 吉田千秋

卒業生の皆さん、お元気ですか。

あなたがた一人ひとりに卒業証書を握手しながら渡して、もう1年近くなりますね。新しい場での新たな挑戦はどうですか。洗練としてアタックしていますか。それとも、少々手強い感じで腰が引けそうですか。いずれにしろ、学部大学生としてかなり自由闊達に過ごせた時期とは異なって、これまで通りのやり方ではうまくゆかないケースが多々生じているでしょうね。場合によっては、それが壁となって重くのしかかることもありますね。

でも、そんな時にこそ、地域科学部で培ったいろいろな力を出し切って下さい。友の力も借りて下さい。そして、あの卒業式に皆さんに述べたことをちょっと思い出して下さい。「ほんものの仕事、ほんものの人生、ほんものの人間めざして突き進んで下さい」と言ったことを。簡単じゃないことは僕もわかっているから、お互いめざしたいものとして提示したのです。

皆さんに続いて、第2期生も就職活動や大学院進学に向け、大いにがんばっています。12月下旬時点での就職内定者も昨年並みの高率です。進学の方も、地域科学研究科（入学試験は今年度から8月末と2月の2回になりました）をはじめ、他学部・他大学への合格者も昨年同様多数決まっています。これも、先頭切ってあなたがたががんばった姿のおかげだと思っています。しかし、まだ決まっていない後輩も少なからずいますので、どうか励まし

の声をかけてやってください。

いま、国立大学は小泉政権の「構造改革」の圧力が日増しに強くなっていますが、私ども教職員は地域科学部をますます発展させようと意気込んでいます。どうか皆さんも、今後ともますます元気溌剌と活躍されることを期待します。忙しくて暇がないかもしれませんが、時間をみつけてこちらに足を運び、苦労話も含めて土産話を聞かせて下さい。

あわせて、この同窓会の通信がこれからも皆さんとのよき媒介役をはたせるよう、大いに期待しております。

卒業生の近況報告

大庭康平

月日が経つのは早いもので、私が岐阜大学を卒業し、社会に出てから9ヶ月。まもなく1年を迎えようとしています。就職された方、進学された方、選んだ道は人それぞれだと思いますが、いかがお過ごしでしょうか？

私は、在学中に興味を持った「コンピューター」を通して、自分の持てる知識を生かして人の役に立てるような仕事を希望し、コンピューター関連機器の販売店「グッドウィル」に就職しました。社会は厳しく、個人の都合は社名の二の次。7月は津へ、8月は大須のサポートへと転々とした後、一度一宮に戻り、先の11月からは新本店のサポート担当という事で、大須の方に呼び戻され、日々、修理受付や動作検証に携わる毎日です。入社から1年経たずして、非常に責任の重い仕事に携わり、大変な毎日ですが、私自身は結構気楽にやっています。

ただ、どこもそうなのかもしれませんが、労働条件は厳しく、一日の実労働時間は11時間以上、通常は隔週二日の休日で、12月は週1休体制。朝起きて夜寝るという一日を一週間続けて一日休み…というサイクルです。学生の頃は大変だ大変だと言っても楽しかったかな…と思いながら、“もう少し人間的な生活を”と切に願う毎日です。

皆さんも、社会の荒波に揉まれて大変だと思いますが、お身体にはお気をつけ下さい。またいつか、お会いできる日を楽しみにしています。

近況報告

坂本映子

私たち地域科学部の1期生が卒業して早いもので9ヶ月が経ちました。卒業後、それぞれが違う道歩み始めたのですが、私もまた岐阜を出、東京で大学院に通っています。東京のせわしい生

活の中にいると、岐阜大学がいかに恵まれた環境にあったかよく分かります。卑近な言葉ですが、きれいな空気、おいしい水、豊かな緑は本当に大切な資源だと痛感しました。大学院では学部時代とは違った研究をしています。しかし地域科学部で学んだ幅広い知識が役に立っていることは言うまでもありません。

皆さんもそうだと思いますが、地域科学部での4年間で起こった様々な出来事は私にとって貴重な体験でした。病院での実習、難しい経済学の講義、友達との旅行、そして卒論など、決して楽しい思い出だけではありません。しかし全ての経験がそのときにしかできなかったことだと思っています。そして今後の生活でつらいことがあったとき、その思い出がきっと私たちを助けてくれるでしょう。いつかまた皆さんと会えたとき、たくさん思い出を語り合えたらいいと思います。

冬の京都より、熱い思いをそえて・・・

武分 祥子

皆さんお久しぶりです。お元気ですか。

ここ京都の立命館大学大学院社会学研究科に来てから、はや9ヶ月目を迎えました。あっという間でした。皆さんは各新転地でご活躍のことと思いますが、私は何ら変わらず、悶々とした研究生生活を送っています。

京都に来てからよかったことと言えば、やはり勉強するのにとても快適な環境に恵まれたことでしょうか。大学も京都という地も私にとっては心地よいものです。春の桜、夏の鴨川、秋の紅葉、ありきたりですが、サイコーです、やっぱり。

そして、この夏ベトナムとカンボジアに行ったことは忘れられない出来事となりました。遊びや障害児福祉セミナーという調査のひとつです。特にカンボジア・アンコールワットはよかったです！また行きた〜い。

以上のようなわけで、楽しいですが研究とバイトに明け暮れる毎日です。ホントは大変なんです。先立つものが無いとやっつけていけない。年末年始も京都でがんばります。またお会いしましょうね。

地域科学部は元気です 永田尚子

3月、涙の卒業式。4月、冷や汗の大学院試験。……いつの間にか(もう)12月。雪がちらつき始め、時の流れの早さに驚いている今日この頃です。

今、学部内は卒論一色。研究室の明かりは夜も明々とおついています。びりびりした雰囲気の中になぜか生まれるゼミ内の連帯感。去年の自分を思いしみじみしつつ、「今」の自分に何とも言えない複雑な思いをめぐらせています。

大学院といっても、生活スタイルは学部の頃とあまり変わりません。ただ、修士論文は、卒論文よりもさらに、論文としての完成度を求められる(ということな)ので、忙しくはなりました。加えて修論の準備をしながらの就職活動です。先を見据えたスケジュール管理をしなければいけないのに、「日々」に追われて終わってしまう毎日。学生の特権「長い冬休み」も返上予定。

卒論をがんばっている2期生の姿に元気をもらっています。

地域科学部は元気です。

山田 修作

寒さも厳しくなり、今年もあとわずかとなりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

さて、東濃信用金庫に入庫してから9ヶ月経った今現在の報告をします。

8月から外に出るようになったが、12月になってから日に日に寒さを感じ、単車に乗って外をまわることがつらくなってきました。まだ正式に渉外係りになっていない分、外に出る機会が少ないからいいものの、渉外係りで一日中外をまわっている先輩をみるとかわいそうな気がしてくる。これも仕事だから仕方がないが...

わたしが先輩から引き継いだお客さんは集金や両替を持っていくことがほとんどで、融資の話がない先である。集金は簡単な仕事で、やらなければいけないことはほんの数分で終わるが、お客さんと話すことに慣れるようにとのことで世間話などしています。ただ自分自身、支店にいると何かと仕事をしなければいけないため、休む口実でお客さんとたくさん話をしています。

と、ほんの一部しか紹介していませんが、年末+月末ということでは忙しい日が迫ってきました。みなさんも同じだと思います。お体には気をつけて、良い新年を迎えられることを願っています。

第1回 森の会総会および同窓会のお知らせ

以下の日時に総会および同窓会を行うこととなりました。皆様ぜひご参加ください。

- 日時 2002年2月10日(日)
午後5時～7時30分 (受付 4時30分開始)
- 場所 ホテル グランパール岐阜
岐阜市日ノ出町5丁目12番地
TEL (058) 263-7111



交通のご案内

- JR岐阜駅または名鉄新岐阜駅下車
- 電車利用 = 忠節・黒野行き
- バス利用 = 岐阜バス (岐阜大学行)
柳ヶ瀬西口下車徒歩3分
- 名鉄バス (西鏡島行)
千手堂下車徒歩3分
- 市営バス
柳ヶ瀬下車徒歩5分

- 会費 4000円
(飲み物代、税、サービス料金等は、卒業を祝う会の残金と同窓会費から
充当します。)

出欠のご返事を同封の返信用はがきにて、2002年1月20日までにお願いします。
ご欠席の方は、はがきの余白にご近況をお書きください。

- * 住所等連絡先に変更がありましたら、以下までご連絡ください。
E-Mail : mori2001@cc.gifu-u.ac.jp
郵便 : 〒500-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学地域科学部内

編集後記

このたび同窓会の活動が本格的に始まり、総会の企画とあわせて会報を創刊することとなりました。突然の原稿依頼にもかかわらず原稿をお寄せいただきました皆様、お忙しいところ本当にありがとうございました。

私自身「年齢を重ねるごとに、時が過ぎるのがはやくなる」という言葉を実感しています。そんな私ですので、大掃除まで手が回りません。せめて、忘年会で皆と楽しく鍋などをいただき、気持ちだけでも来年に向けてスッキリとさせたいと思っています。

重ねて原稿の御礼申し上げます。
皆様、よいお年を。

(森の仲間・牛田 陽子)